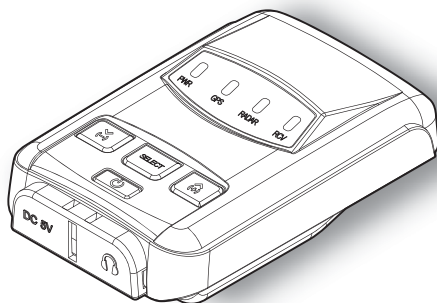


レーダー探知機

取付説明書／取扱説明書／保証書

MOTO GPS RADAR 4E



この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本書には取付けおよび操作手順が説明されております。
正しくご使用頂くために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。
なお本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

- ・レーダー波と同一の周波数を使用している一部の人感センサー付き自動販売機や自動ドアなどの付近でレーダー警報を行うことがあります。異常ではありません。
※ 取締機と同一周波数を使用しているため、レーダー警報を行います。
- ・運転支援システム装着車の場合、取付位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前に必ず車両の取扱説明書をご確認ください。

**本製品は安全運転と法規走行を促進するためのものです。
スピードの出し過ぎには注意しましょう。**



はじめに

取付け

基本操作

便利な機能

警報について

設定

その他

目次

目次	2	警報について	43
はじめに	3	オービス /GPS 警報	43
安全上のご注意	3	レーダー警報	58
ご使用上のお願い	8	無線警報	59
知っておきたいこと	10	設定項目	66
梱包内容	13	GPS 警報設定	66
各部名称	14	レーダー警報設定	67
別売オプションおよび補修部品	17	無線警報設定	68
ご使用の前に	18	走行エリアを選ぶ	69
本体を充電する	19	ASC 機能設定	70
取付方法	20	LSC 機能設定	72
バイクに取付ける	20	アラーム音を変更する	73
ポケットに入れて使用する	22	お知らせ設定	74
ヘルメットスピーカーを使用する	22	誤警報キャンセルエリア設定	75
クルマに取付ける	23	オートパワーオフ設定	76
基本操作	26	付録	77
電源を ON にする	26	取締りの種類と方法	77
電源を OFF にする	27	初期状態に戻す (オールリセット)	81
内蔵バッテリーで使用する	27	ディスプレイモード (販売店向け機能)	82
充電状態を確認する	28	故障かな?と思ったら	83
microSD カードの抜き差し	29	製品仕様	84
音量を調整する	30	商標について	84
オートディマー機能	31	さくいん	85
セーフモード機能	31	保証書	裏面
時報機能	31		
便利な機能	32		
ワイヤレスヘッドセットと接続する	32		
ユーザーポイントを登録する	34		
警報をキャンセルする	35		
GPS データを更新する	40		
レーダー本体をアップデートする	41		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分して説明しています。

⚠ 危険 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

⚠ 警告 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

⚠ 注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について

	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけるべき「注意」内容を示しています。
	衛星を受信している場合に対応する内容を説明しています。
OP	別途別売品が必要なことを示しています。
	LED の点灯を示しています。
	LED の点滅を示しています。
アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを 3 秒程度長めに押すことを示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)

本書の見かた

本書では、GPS/GLONASS/Galileo/ みちびき / ひまわり / GAGAN (⇒ P10) を総称して GPS と記載します。

はじめに

⚠ 警告



運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車両を停車させてから行なってください。



本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。



本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。



穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。



異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。



運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。



エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。



microSD カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。



取付けネジの緩みなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

 注意

気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。電源ジャック、イヤホンジャックのカバーを開けて乾燥させてください。



本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
- ・湿度が高い所やほこりの多い所。



microSD カードを本製品に差込む場合、差込方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。



本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。

- ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
- ・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。



microSD カードを抜く時は、必ず本体電源が OFF になった事を確認してから抜いてください。microSD カードへのアクセス中に抜き差しを行うと、データ破損や本体故障の原因となりますのでご注意ください。



一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

はじめに

内蔵リチウムポリマー電池について

本製品の内蔵バッテリーにはリチウムポリマー電池を使用しています。下記内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠ 危険

-  分解したり、改造しないでください。リチウムポリマー電池には危険を防止するための保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、リチウムポリマー電池が発熱、破裂、発火の原因になります。
-  ストーブなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
-  火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因になります。
-  水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。リチウムポリマー電池に組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムポリマー電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
-  釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムポリマー電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
-  高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムポリマー電池が変形したり、リチウムポリマー電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムポリマー電池が充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
-  液漏れして目に入った場合は失明のおそれがありますので擦らずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠ 警告

-  指定の電圧以外で使用しないでください。高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。
-  電子レンジや高圧容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。

 電池から液漏れしたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。

 リチウムポリマー電池は消耗品です。バッテリー動作の駆動時間が短くなった場合は寿命が考えられますのでご使用をおやめください。発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。交換（有償修理）する際は、お客様相談窓口までお問い合わせください。（株式会社デイトナ フリーダイヤル：0120-60-4955）

注意

 濡れたリチウムポリマー電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。

 濡れた手でリチウムポリマー電池を触らないでください。感電の原因となります。

 通電中のリチウムポリマー電池に長時間触れないでください。温度が上がり、低温やけどの原因となります。

 リチウムポリマー電池を直射日光の当る場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所で充電しないでください。（充電温度範囲：0℃～+45℃）高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。

 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、怪我の原因となるため直ちに水で洗い流してください。また、機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

はじめに

ご使用上のお願ひ

- ヘルメットスピーカーまたはワイヤレスヘッドセット等を使用し、ヘルメット内で直接音声を聞く場合、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえず、状況判断の妨げになる可能性があります。周囲の音が十分に聞こえる音量でご使用ください。
※ 運転中の使用に関しましては、事前に使用する地域の条例等をご確認ください。
使用する地域によっては、法令違反となる場合があります。
- 本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- 衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS 機能による警報、表示、メモリー機能が正常に動きません。（トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中など）
- 本製品の GPS 警報は、予め登録されたオービスや取締ポイントなどの GPS データ（位置情報）とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。
- G システムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。走行状況によっては警報できない場合があります。
- 電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合など、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波などの電波が受信できない場合があります。
- 本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 一部ナビゲーションシステム、ドライブレコーダー、スマートフォン、ETC 車載器、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上デジタルチューナーや衛星放送受信機などの車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合や、エンジンや HID ヘッドライト、LED ヘッドライトから発生するノイズと本製品が干渉した場合、本製品が警報を行うことがあります。
- 取締機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがあります。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部、車線変更支援システムの一部、人感センサー付き自動販売機の一部）
- 本製品の制限速度データは、調査した時期以降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、必ず実際の交通規制に従い走行してください。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データなどの補償に関しては一切の責任を負いかねます。

- microSD カード内へ本機以外のデータを保存しないでください。データ消失などによる付随的な損害に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については一切の責任を負いかねます。(microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります)
- 本製品にはお買い上げ日から 1 年間の保証がついています。(ただし、ヘルメットスピーカーや USB/DC 変換ケーブルなどの付属品は保証の対象となりません)
- 補修用部品や修理後の性能保証等の事情から修理対応ができない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反など）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

はじめに

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」 アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GLONASS とは

「GLObal'naya NAVigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」 ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● Galileo とは

欧州連合（EU）の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」（QZSS）

本製品は、準天頂衛星「みちびき」に対応しています。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● ひまわりとは

日本の運輸多目的衛星（MTSAT）です。この衛星を利用した静止衛星型衛星航法補強システムからの信号を受信することで、GPS の誤差が補正できます。また、GPS 同様に測位衛星として使用することで、測位の信頼性が向上します。

● GAGAN とは

「GPS Aided GEO Augmented Navigation」の頭字語で、インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データなど）と比較演算し、接近すると警報を行います。

● 衛星受信までの時間について

本製品は「最速 GPS 測位」機能により、起動後すばやく GPS 衛星を測位する事ができます。ただし以下のような場合、「最速 GPS 測位」は機能しません。

- ・ 前回電源 OFF 後 144 時間以上経過した場合。
- ・ 前回電源 OFF 後、直線距離で 300km 以上離れた場所で電源を ON にした場合。
- ・ 前回電源 OFF した時と、次に電源 ON した時の GPS 衛星の状態が異なる場合。
- ・ 内部部品の劣化などにより、衛星の軌道情報が正常に保持できない場合。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

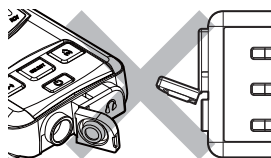
● microSD カードについて

microSD カード内に本機以外のデータを入れると、正常に動作しなくなることがあります。

● 本製品の防水性能について

本製品は防水性能を備えていますが下記の点にご注意頂き、ご使用ください。浸水による故障は保証対象外となります。

- ・ 本製品は JIS 保護等級 IPX7 相当の防水性能がありますが、激しい雨や洗車時は本製品を外してください。
※ 本製品の防水性能については弊社試験方法によるものであり、すべての状態において無破損・無故障を保証するものではありません。
- ・ 付属品は防水仕様ではありません。
- ・ イヤホンジャックおよび電源ジャック部の防水ゴムキャップや microSD カードスロットのカバーにホコリやゴミ等の異物を挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水し、故障の原因となります。
- ・ 雨天時や濡れた手でイヤホンジャックおよび電源ジャック部の防水ゴムキャップや microSD カードスロットのカバーの開け閉めを行わないでください。本体内に浸水し、故障の原因となります。
- ・ 雨天走行時などは、イヤホンジャックおよび電源ジャック部の防水ゴムキャップや microSD カードスロットのカバーは必ず閉じて使用してください。
- ・ ヘルメットスピーカーのケーブルと延長カールコードの接続ジャックは防水仕様ではありません。雨天走行時にはケーブルを取外し、必ずカバーを閉じてください。故障の原因となります。
- ・ イヤホンジャックおよび電源ジャック部の防水ゴムキャップや microSD カードスロットのカバーはゴム製のため劣化します。防水性能を維持するために数年に一度交換することをおすすめします。(有料)
※ イヤホン電源防水ゴムキャップは補修部品として販売しています。(⇒ P17)



雨天時は開閉禁止

はじめに

● 製品の使用周波数について

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の生産ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるかまたは機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きた時には、次の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先：株式会社デイトナ フリーダイヤル：0120-60-4955

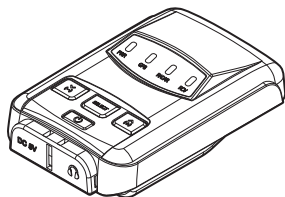
2.4 FH 1

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

梱包内容

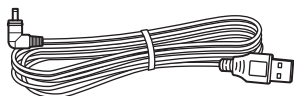
ご使用頂く前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。

MOTO GPS RADAR 4E 本体



付属品

USB/DC 変換ケーブル (1 本)
(約 0.6m)



ヘルメットスピーカー固定用
面ファスナー (1 セット)



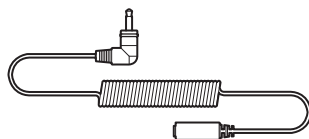
取扱説明書 (本書 / 1 冊)



ヘルメットスピーカー (1 本)
(約 0.2m)



延長カールコード (1 本)
(最短: 約 0.4 m / 最長: 約 1m)



アドバイス

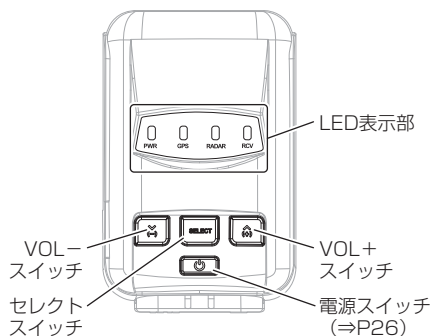
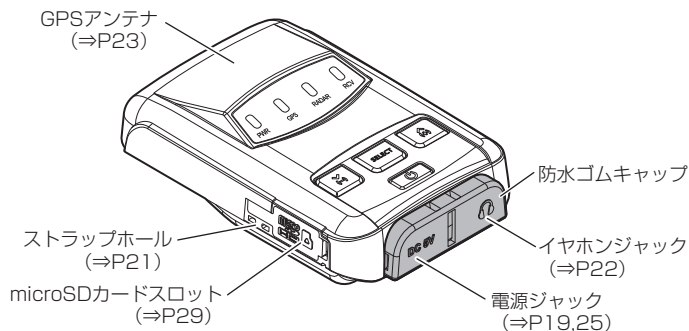
本製品に microSDHC カードは付属していません。
GPS データ更新を行う際は、**32GB 以下**の microSDHC カード
をご用意ください。



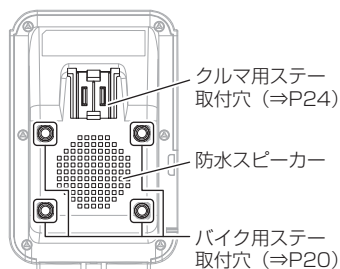
[32GB以下]

はじめに

各部名称



■本体裏面



防水ゴムキャップを外した状態では防水性はありません。またイヤホンジャックと電源ジャックの区別も困難になります。ケーブルジャックの差し違えに十分注意してください。特にスピーカーの差し込みに注意してください。電源ジャックの破損は保証期間内であっても保証対象外となります

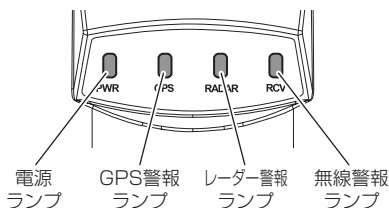
スイッチ操作一覧

項目	スイッチ操作				参照ページ	備考
	VOL- スイッチ	セレクト スイッチ	VOL+ スイッチ	電源 スイッチ		
電源 ON/OFF	—	—	—	長押し	P26、27	—
バッテリーチェック機能	—	—	—	短押し	P28	バッテリー動作時
音量アップ	—	—	短押し	—	P30	—
音量ダウン	短押し	—	—	—		—
テスト機能終了	長押し	—	長押し	—	P30	待機中に同時長押し
音量調整以外の操作						
警報音のミュート	—	短押し	—	—	P35	警報中に操作
ミュート解除	—	短押し	—	—		警報ミュート中のみ
走行エリア切替	—	短押し	—	—	P69	—
ユーザーポイント登録解除	長押し	—	—	—	P34	待機中のみ ユーザーポイント警報中に操作
誤警報地点登録	長押し	—	—	—	P36	レーダー警報中に操作 ※解除はオールリセットを行う
オービスポイントのキャンセル登録	長押し	—	—	—	P38	オービス警報中に操作
キャンセル解除	—	—	—	—		キャンセルミュート中に操作
無線警報のキャンセル登録	長押し	—	—	—	P39	無線警報中に操作 ※解除はオールリセットを行う
ディスプレイモード設定解除	—	●	—	—	P82	押しながら電源を入れる
オールリセット	●	—	●	—	P81	押しながら電源を入れる
各種設定操作						
GPS 警報設定に入る	—	長押し	—	—	P66	待機中に操作
設定を変更する	—	短押し	—	—		設定中に操作
レーダー警報設定に入る	長押し	長押し	長押し	—	P67	待機中に同時長押し
設定を変更する	短押し	短押し	短押し	—		設定中に同時短押し
無線警報設定に入る	—	—	長押し	—	P68	待機中に操作
設定を変更する	—	—	短押し	—		設定中に操作
オートパワーオフ設定に入る	—	—	●	—	P76	押しながら電源を入れる
設定を変更する	—	—	短押し	—		設定中に操作
上記各設定を終了する	短押し	—	—	—	—	太枠内の設定中のみ
ASC 設定を変更する	—	短押し	短押し	—	P70	待機中に同時短押し
LSC 設定を変更する	短押し	短押し	—	—	P72	待機中に同時短押し
アラーム設定を変更する	短押し	—	短押し	—	P73	待機中に同時短押し
お知らせ設定切替を変更する	長押し	長押し	—	—	P74	待機中に同時長押し
誤警報キャンセルエリア設定を変更する	短押し	短押し	短押し	—	P75	待機中に同時短押し
ベアリング設定に入る	—	長押し	長押し	—	P32	待機中に同時長押し
ベアリングを解除する	—	5 秒長押し	5 秒長押し	—	P33	待機中に同時 5 秒長押し
データ更新を実行する	—	短押し	—	—	P41	データ更新モード中
データ更新をキャンセルする	短押し	—	—	—		データ更新モード中

はじめに

LED 表示内容

■LED表示部



●待機時

電源ランプ	GPS 衛星	未受信	青点滅
		受信	青点灯
	G システム作動時		青点滅
GPS 警報ランプ	ロードセレクト	オールモード	橙点灯
		シティーモード	緑点灯
		ハイウェイモード	赤点灯
		オートモード	走行状況に応じて 3色を切替えて点灯
レーダー警報ランプ	消灯		
無線警報ランプ			

●警報時

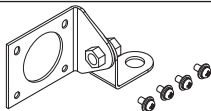
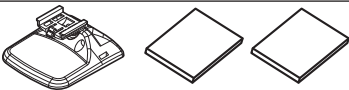
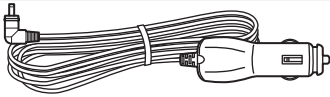
電源ランプ	警報ミュート時またはキャンセル時は青点滅		
GPS 警報ランプ	GPS 警報時のみ	点滅（距離や警報の種類により色は異なる）	
レーダー警報ランプ	レーダー警報時のみ	点滅（受信レベルにより色は異なる）	
無線警報ランプ	無線警報時のみ	点滅（警報の種類により色は異なる）	

●設定時

電源ランプ	各設定内容により点灯・点滅で表示
GPS 警報ランプ	
レーダー警報ランプ	
無線警報ランプ	

別売オプションおよび補修部品

別売オプション ※品番および価格は予告なく変更することがあります。

バイク用ステー [品番：78180]		¥1,500 (税抜)
クルマ用ステー [品番：78181]		¥1,500 (税抜)
MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード [品番：94416]		¥2,200 (税抜)
バイク専用電源 USB 1 ポート [品番：93039]	車両のバッテリーやアクセサリ電源に接続し、5V 2.1A 出力の USB 電源の取り出しができます。	¥2,200 (税抜)

補修部品

ヘルメットスピーカー [品番：78178]	有線タイプのシングルスピーカーです。	¥1,500 (税抜)
延長カールコード [品番：78179]	ヘルメットスピーカーとレーダー本体を接続します。	¥950 (税抜)
USB/DC 変換ケーブル [品番：94417]	バッテリー充電の際に使用します。	¥840 (税抜)
イヤホン電源 防水ゴムキャップ [品番：94418]	イヤホン / 電源ジャックの防水ゴムキャップです。	¥550 (税抜)

ご使用の前に

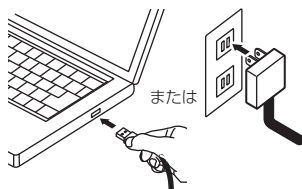
ご使用前に必ず十分な充電を行なってください。

※ USB/DC 変換ケーブルや、別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコードを接続した状態で使用する場合はそのままご使用ください。

- ・本製品の内蔵バッテリーにはリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムポリマー電池は、特性上約 300 回程度は繰り返し充電が可能ですが、それ以降は徐々に性能が低下するため、駆動時間が通常の半分程度になった場合はバッテリーを交換（有償修理）する必要があります。
- ・本製品は防水設計されているため、お客様での内蔵バッテリーの交換はできません。交換（有償修理）する際は、お買い上げの販売店または、お客様相談窓口にご相談ください。（株式会社デイトナ フリーダイヤル：0120-60-4955）
- ・極端な高温、または低温の場所で使用・充電しないでください。また、長期間高温・直射日光にさらされる場所への設置は避けてください。その場合は、取外して保管してください。
- ・本製品は、お買い上げ時には検査用予備充電のみされております。初めてご使用になる時や内蔵バッテリーが消耗した時は、十分に充電を行ってからご使用ください。
- ・本製品に内蔵しているバッテリーは長期間充電しないと自然放電します。バッテリーを長持ちさせるために 3 ヶ月に 1 度、補充充電を行ってください。
- ・本製品の充電には、DC5V 0.5A 以上出力可能な電源が必要です。
※約 3 時間で満充電になります。
- ・本製品を充電しながら使用する場合は、1.0A 以上出力可能な電源が必要です。
- ・パソコンの USB ポートで充電する場合は、USB3.0 のポートを使用して充電することをおすすめします。
- ・0.5A 以下の出力の電源を使用する場合、本製品の電源を OFF にして充電してください。
- ・本製品のバッテリー駆動時間は、満充電の状態で約 6 ～ 8 時間です。（使用状況や設定により異なります）
- ・本製品は GPS 受信機能を搭載しているため、ご使用条件によっては電池の消費が早い場合があります。
- ・充電ケーブルは、付属の USB/DC 変換ケーブルと MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード以外は使用しないでください。

本体を充電する

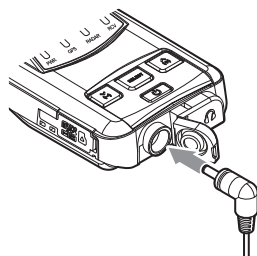
1. パソコンの USB ポート (USB3.0 推奨) や市販の USB/AC アダプター (出力: 5V/0.5A 推奨) に、付属の USB/DC 変換ケーブルを接続します。



2. レーダー本体の電源ジャックに USB/DC 変換ケーブルを差込み、充電を行なってください。

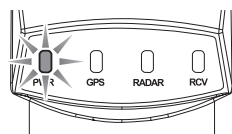
※電源ジャック端子破損は保証対象外 (有償修理) となります。無理な力で差込むと端子を破損させるおそれがありますのでご注意ください。

※ USB/DC 変換ケーブルを差込むと電源が ON になります。電源スイッチを**長押し**して、電源を OFF にした状態で充電を行なってください。



3. レーダー本体の電源を OFF にした状態で充電を行うと、電源ランプが青点灯します。LED 消灯で充電完了です。

※約 3 時間で満充電になります。



- ・充電ケーブルは、付属の USB/DC 変換ケーブルと MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード以外は使用しないでください。
- ・内蔵バッテリー電圧が極端に低下した場合は、レーダー本体の電源を OFF にした状態で充電を行なってください。

👉 アドバイス

充電時の本体動作について

バッテリー動作中に手動で本体の電源を OFF にしてから電源に接続した場合は、一旦本体が起動した後、本体の電源が OFF になり充電を開始します。上記以外は電源の供給に連動して本体が起動するため、充電しながら使用することができます。

※ 充電しながら使用する場合は 1.0A 以上出力可能な電源が必要です。

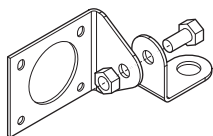
取付方法

バイクに取付ける

OP

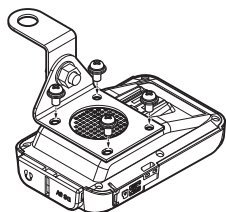
- 別売のバイク用ステー（⇒ P17）を使用することで、バイクに取付けることができます。
- 運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
- 道路に対して垂直、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

1. バイク用ステーを組み立てます。



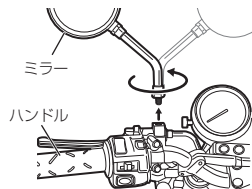
2. レーダー本体裏面にバイク用ステーを取付けます。

※ステーを固定するネジには、ネジ緩み止め接着剤を使用しないでください。本体プラスチック樹脂に浸透し、ケースが破損する可能性があります。



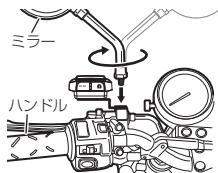
3. バイクのミラーを取外します。

※一部の車種では、ミラー取付けネジが逆ネジになっています。ネジの回転方向にご注意ください。



4. バイク用ステーをミラーでハンドルに固定します。

※レーダー本体後部が、進行方向を向くように固定してください。



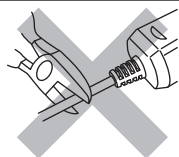
5. シガーソケットを装備している車両は別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード (⇒ P17) を接続して使用することができます。シガーソケットが無い車両は内蔵バッテリーでご使用頂くか、別売のバイク専用電源 USB1 ポート (⇒ P17) を使用してください。

👉 アドバイス

- ・雨天走行時などは、イヤホンジャックおよび電源ジャック、microSD カードスロットのカバーは必ず閉じて使用してください。
- ・車種によってはバイク用ステーが使用できない場合があります。面ファスナーで車体へ貼付ける等、工夫して取付けてください。

⚠ 警告

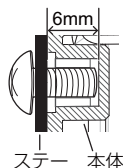
- ・本製品の電源電圧は DC5V のため、別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコードを切断して直接 DC12V 電源線に接続すると、故障や火災の原因となります。
- ・別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコードを使用して他の製品を接続しないでください。故障の原因となるおそれがあります。



⚠ 注意

- ・別売のバイク用ステーと本体を固定するネジは、バイク用ステーに付属するものをご使用ください。市販のネジを使用する場合は、M4 サイズで本体差込長さが 6mm 以下 のものをご使用ください。本体差込長さが 6mm を超えるネジは絶対に使用しないでください。ケースが破損し、防水性能が損なわれるばかりでなく、内部基板を破損する恐れがあります。
- ・ステーを固定するネジには、ネジ緩み止め接着剤を使用しないでください。本体プラスチック樹脂に浸透し、ケースが破損する可能性があります。

※ステー取付部断面



- ・落下防止のため市販のストラップ等で落下防止を行うことをおすすめします。



取付方法

ポケットに入れて使用する

本製品はバッテリーを内蔵しているため、ポケット等に入れて使用することができます。

⚠ 注意

- ・服の装飾品やプロテクターの材質、種類等により GPS やレーダー波、無線の受信感度が低下する場合があります。またワイヤレスヘッドセットの送受信距離が短くなる場合があります。
- ・クルマに乗って使用する場合、ポケットにレーダー本体を入れているとルーフに遮られ、GPS が受信できない場合があります。

ヘルメットスピーカーを使用する

付属のヘルメットスピーカーを使用することで、ヘルメットをかぶったままでも本製品の音声（モノラル出力）を聞くことができます。

1. ヘルメットの保護パッドを外し、ヘルメットをかぶった時に耳の位置にくるように、ヘルメットスピーカーを付属の面ファスナーで固定します。

👉 アドバイス

内部に耳当てがあるタイプのヘルメットでは、スピーカーを内装に組込むことで、より違和感が少なくなる場合があります。



2. レーダー本体側面のカバーを開け、イヤホンジャックにヘルメットスピーカーのプラグを接続します。

⚠ 注意

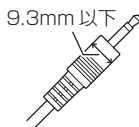
- ・スピーカーケーブルと延長カールコードの接続ジャックは防水仕様ではありません。
 - ・ヘルメットスピーカーのプラグは必ずイヤホンジャックへ接続してください。誤って電源ジャックへ挿入すると端子を破損するおそれがあります。
- ※電源ジャック端子破損は保証対象外（有償修理）となります。



[電源ジャック] [イヤホンジャック]

※中央に端子あり ※中央に端子なし

- ・ケーブルが短い場合、市販のモノラル延長ケーブル等をお買い求めください。
- ※モノラルプラグ最外径が 9.3mm 以下の物をご使用ください。
※雨天走行時にはケーブルを外し、必ずカバーを閉じてください。故障の原因となります。



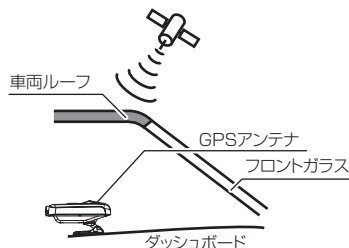
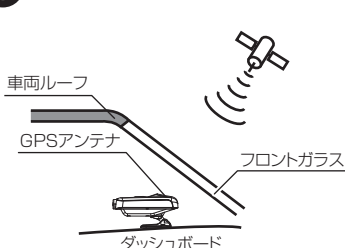
クルマに取付ける

OP

- 別売のクルマ用ステー（⇒P17）を使用することで、クルマに取付けて使用できます。
- 運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグや運転支援システムなど）に影響のない場所に取付けてください。
- 液晶の特性上、レーダー本体を取付ける場所や角度によってはディスプレイが見えにくくなる場合があります。ディスプレイが視界の正面になると一番見やすくなるように設計されていますので、ディスプレイが視界の正面になるようにレーダーを取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

○ 障害物がないので電波の受信ができる

✕ 車両ルーフによって電波が受信できない



⚠ 警告

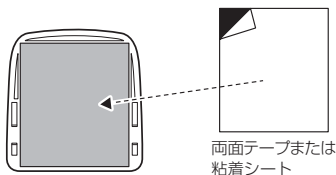
エアバッグの展開場所など、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

⚠ 注意

一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付けの前に車両の取扱説明書をご確認ください。

取付方法

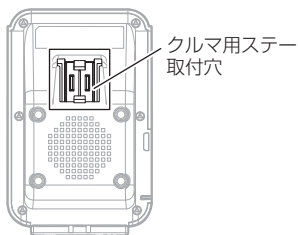
1. ステアに両面テープまたは粘着シートを貼付けます。



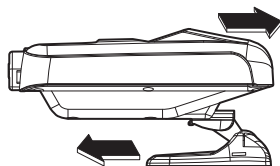
⚠ 粘着シート使用上の注意

- 粘着シートは汚れたり、ほこりがついたりして粘着力が弱まった場合、中性洗剤で洗うと粘着力が戻り、再度使用することができます。
- 粘着シートは、ダッシュボードの場所や材質によっては貼付きにくく、不安定になることがあります。そのような場合は両面テープを使用して取付けてください。
- ダッシュボードが変色したり、跡が残ったりすることがあります。あらかじめご了承ください。

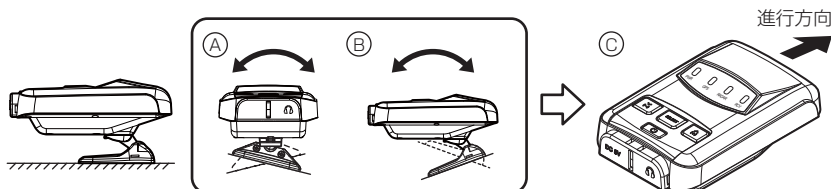
2. レーダー本体底面のステア取付穴にステアを差込み、「カチッ」と音がするまでスライドします。



■レーダー本体とクルマ用ステアをスライドさせて取付ける

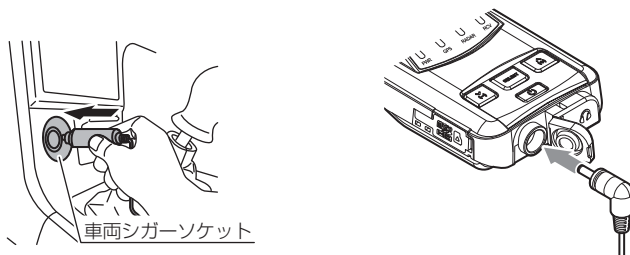


3. 濡れたタオルなどでダッシュボードを拭き、きれいにしてから固定します。下図①、②、③のようにレーダー本体が垂直で車両の進行方向を向くように調整します。



4. 車両シガーソケットと本製品を別売のMOTO GPS RADAR OPTION シガーコード (⇒ P17) で接続します。

※シガーソケットから脱着する際は、下図の通りにプラグ部を持ち、まっすぐ脱着してください。コード部を引っ張ったり回したりすると断線のおそれがあります。

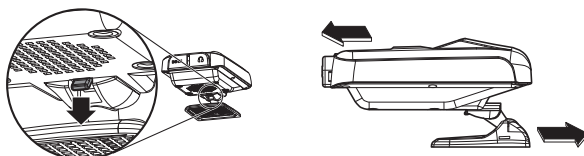


レーダー本体を取外す

ステー裏側のロックを外しながらレーダー本体をスライドさせて取外します。

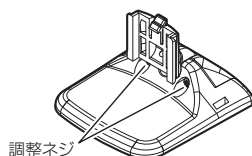
①ロックを外し、

②本体をスライドさせて取外す



👉 アドバイス

ステーのジョイントが緩んだ場合は、ステー背面の調整ネジをプラスドライバーで左右均等に少しずつ締めてください。

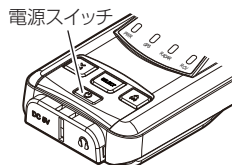


基本操作

電源を ON にする

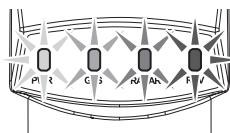
1. 本体の【電源スイッチ】を長押しします。

- ※ 付属の USB/DC 変換ケーブル、または別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード (⇒ P17) を使用して接続している場合、車両のキー ON と連動して本体の電源が入ります。



2. LED によるオープニング表示を確認します。

- ・ LED が全点灯した後、消灯します。
- ・ その後左から順に点灯、消灯します。
- ・ すべて消灯した後、全点滅を 2 回し、全点灯します。



3. 衛星の受信状態を確認します。

- ※ 数秒～数分かかる場合があります。

- ※ 受信アナウンスを行います。お知らせ設定 (⇒ P74) で変更することができます。

衛星の受信状態	電源ランプ	受信アナウンス
		※お知らせ設定 (⇒ P74) を ON に設定時のみ
衛星受信時	点灯	ピンポン♪ 衛星を受信しました。
未受信時	点滅	チャラン♪ 衛星を受信できません。

アドバイス

自転車位置検出の補完機能

本製品は走行中に衛星の受信ができなくなった場合、『G システム』によって自転車位置の検出を行います。G システム作動時は電源ランプが衛星未受信時より遅い速度で点滅します。

- ※ G システムのみでは、自転車位置を完全に検出することはできません。

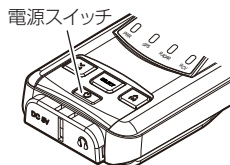
起動時の LED について

本製品に一度ヘッドセットを登録していると、ペアリングモード時と同様のパターン (⇒ P32) で点滅します。登録したヘッドセットと接続された時点、または接続できずに一定時間経過すると待機時の内容 (⇒ P16) で点灯します。

電源を OFF にする

本体の【電源スイッチ】を**長押し**することで、電源を切ることができます。

※ データ更新 / ペアリングモード中は、【電源スイッチ】の操作は無効になります。



内蔵バッテリーで使用する

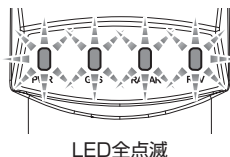
本製品はリチウムポリマー電池を内蔵しているため、外部電源に接続しなくても使用することができます。

※ 内蔵バッテリーで使用する際は事前に充電を行ってください (⇒ P18 ~ 19)

内蔵バッテリーでの動作時間は、満充電の状態です約 6 ~ 8 時間です。(使用状況や設定により異なります)

電源接続モードからバッテリー動作モードへの切替

- ・付属の USB/DC 変換ケーブル、または別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード (⇒ P17) を接続して使用している場合は、車両のキーを OFF にした場合や、電源入力が途切れた際に、LED が全点滅します。



- ・LED が全点滅中に本体のいずれかのスイッチを短押しすることで、バッテリー動作モードに切替え、動作を継続します。
- ・何も操作を行わずに 10 秒間経過した場合は、電源を OFF にします。

バッテリー動作モードから電源接続モードへの切替

バッテリー動作モード中に電源の接続を行うと、再起動後に電源接続モードで動作します。

基本操作

充電状態を確認する

バッテリー動作モード中に、本体の【電源スイッチ】を短押することで内蔵バッテリーの残量をLEDで確認できます。

アナウンス	LED表示	アナウンス	LED表示
効果音 バッテリーは 充分です。		効果音 バッテリーは 40%です。	
効果音 バッテリーは 60%です。		効果音 バッテリーは 20%です。	

アドバイス

ワイヤレスヘッドセット等と接続時は、充電状態のアナウンスもワイヤレスヘッドセットからお知らせします。

バッテリーチェックアナウンス

バッテリー動作モードで使用中に、内蔵バッテリーの充電量が低下した際はアナウンスでお知らせします。

アナウンス	機能	内蔵バッテリー状態
効果音 バッテリーチェック GPS 機能を停止します。	GPS 受信機能を停止	バッテリー残量 40%以下
効果音 バッテリーチェック 充電を行なってください。	全受信機能を停止	バッテリー残量不足

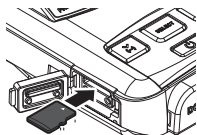
※ GPS 受信機能を停止した場合、衛星の測位は行いません。

microSD カードの抜き差し

⚠ microSD カードを抜き差しする際は、必ずレーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

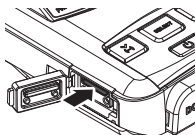
microSD カードを挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで軽く押し込んでください。また、取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜いてください。

●挿入方法

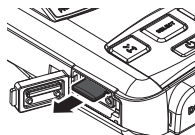


microSDカードの端子部が
本体底面を向くように挿入し、
「カチッ」と音が鳴るまで
軽く押しこんでください。

●取り出し方法



microSDHC カードを
軽く押し込み、



少し飛び出してきたら
引き抜く。

microSD カードを逆向き（端子部を上にして）挿入すると、レーダー本体の microSD カードスロットが故障する原因となります。microSD カードスロット破損は保証対象外（有償修理）となります。ご注意ください。

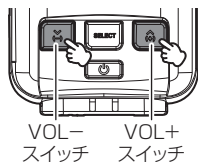
👉 アドバイス

- 雨天時や濡れた手で microSD カードスロットのカバーを開け閉めを行わないでください。本体内に浸水し、故障の原因となります。
- 本製品は防水性を保つため、microSD カードが挿入された状態では microSD カードスロットのカバーが閉まらない構造になっています。データ更新時以外は microSD カードを抜き、microSD カードスロットのカバーが確実に閉じていることを確認した上でご使用ください。

基本操作

音量を調整する

- ・ 音量を 7 段階（消音含む）から調整できます。
- ・ 待機中に【VOL - スイッチ】を押すことで音量が下がり、【VOL + スイッチ】を押すことで音量が上がります。
- ・ 本体スピーカーとイヤホンジャックの音量は連動して変化します。
- ・ お買い上げ時は、音量が【6】に設定されています。



音量	0（消音）	1、2	3、4	5、6
LED 表示				

テスト機能を使用する

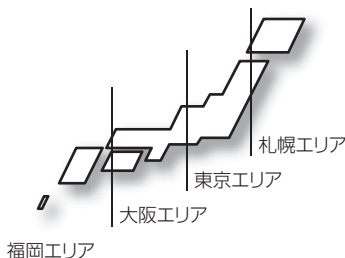
- ・ 警報時の音量を確認するための機能です。
- ・ 待機中に【VOL - スイッチ】【VOL + スイッチ】を同時に長押しすると、設定した音量で警報音が鳴ります。

オートボリュームダウン機能

本製品は、オービス最接近警報（200m 以下）してから約 10 秒後、またはレーダー受信警報してから約 15 秒後に、警報音の音量を自動的に小さくします。一度警報が解除されると、元の警報音の音量に戻ります。

オートディマー機能 ※バッテリー動作時のみ

- ・本製品は時刻によってLEDの明るさを自動的に切替えるオートディマー機能を採用しています。
- ・各エリアを中心とした時季（2～4月 / 5～7月 / 8～10月 / 11～1月）の日の出と日の入り時刻の統計を基に、輝度を自動的に切替えます。



セーフモード機能

下記セーフティーウィーク期間中に起動すると、音声アナウンスを行います。
※ 本設定を OFF にすることはできません。

セーフティーウィーク	期間（※）	アナウンス内容
春の交通安全運動期間	4月6日～4月15日 ※統一地方選挙のある年は 5月11日～5月20日 に変更となります。	春の交通安全運動期間です。
秋の交通安全運動期間	9月21日～9月30日	秋の交通安全運動期間です。
年末年始取締強化運動期間	12月15日～1月5日	年末年始取締強化運動期間です。

※ 交通安全運動期間は原則として上記期間ですが、都合により変更となる場合があります。

時報機能

毎正時ごとに時報を効果音とアナウンスでお知らせします。

※ 本設定を OFF にすることはできません。

便利な機能

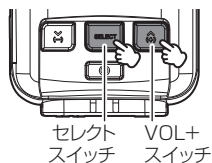
ワイヤレスヘッドセットと接続する

本製品は、HFP プロファイルに対応した Bluetooth 搭載ヘッドセットとペアリングすることで警報等の音声を聞くことができます。

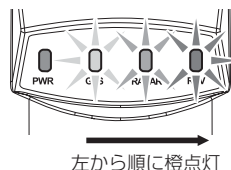
- ・2台以上同時にヘッドセットを接続することはできません。また周囲にその他の Bluetooth を搭載した製品があると、正常に接続できない場合があります。
- ・本製品は HFP プロファイルに対応した Bluetooth 搭載ヘッドセットでも、すべての機器との接続を保証するものではありません。
- ・スマートフォン等と接続し音楽を聞いている場合、警報終了後に音楽に戻らない場合や音楽に戻るまで数秒かかる、または警報音が正常に割込みできない場合がありますが異常ではありません。あらかじめご了承ください。

ペアリング方法

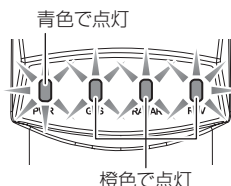
1. ヘッドセットをペアリングモードにします。
※お使いのヘッドセットの取扱説明書を参照してください。
2. 待機中に【セレクトスイッチ】と【VOL+ スイッチ】を約 2 秒間長押しします。
※「ピッ♪」と 2 回音が鳴ったら離してください。



3. 電源ランプ以外の LED が左から順に橙色で点灯・消灯を始め、ペアリングモードになります。
※ペアリングモードは約 20 秒で終了します。



4. 登録が完了すると、すべての LED が点灯に変わります。



👉 アドバイス

一度ヘッドセットを登録すると、次にレーダー本体の電源を入れた時に登録したヘッドセットと自動で接続を行います。その間、本体 LED はペアリングモード時と同様のパターンで点灯します。

※ ヘッドセットの電源を入れた後にレーダーの電源を入れると、比較的短時間で接続が可能です。

ペアリングに失敗した場合

ペアリングに失敗した場合は、再度最初からやり直してください。

青色で点滅



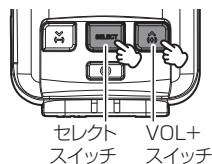
赤色で点滅

ペアリングモード中に動作しなくなった場合

電源ケーブルを電源ジャックより抜き差ししてレーダー本体を再起動し、最初からペアリング操作をやり直してください。（※スマートフォンは接続できません）
症状が改善しない場合は、購入された販売店またはお客様相談窓口までお問い合わせください。（株式会社デイトナ フリーダイヤル：0120-60-4955）

ペアリングの解除

1. 待機中に【セレクトスイッチ】と【VOL+スイッチ】を **5秒長押し** します。

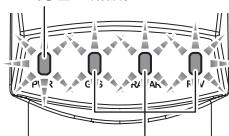


セレクト
スイッチ VOL+
スイッチ

5秒長押し

2. LED が 5 秒間全点滅し、ヘッドセットとのペアリングが解除されます。

青色で点滅



オレンジ色で点滅

便利な機能

ユーザーポイントを登録する



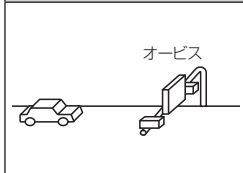
未登録、または新たに設置されたオービスポイントを任意に 100 件まで登録することができます。

⚠ 警告

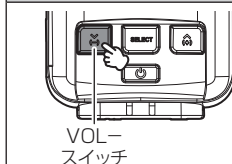
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

- ①ポイントを登録したい地点で各種警報をしていないときに

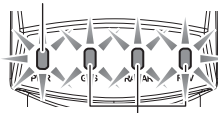


- ②【VOL スイッチ】を長押しします。



- ③「チャラーン」ユーザーポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。

青色で点灯



橙色で点灯

登録時の走行エリアの設定	警報条件
オールモード	一般 / 高速道共通のポイントとして登録し、オール / ハイウェイ / シティーモード設定時に警報します。
シティーモード	一般道路上のポイントとして登録し、オール / シティーモード設定時に警報します。
ハイウェイモード	高速道路上のポイントとして登録し、オール / ハイウェイモード設定時に警報します。

解除方法

登録したポイントの警報中に、再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

👉 アドバイス

登録ができない場合

下記の場合、ユーザーポイントは登録できません。

- ・各種警報時
- ・衛星未受信時
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度登録しようとした場合
- ・ユーザーポイントが 100 件登録済み

警報をキャンセルする

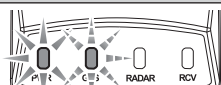
警報を一時的にキャンセルしたり、不要な警報をキャンセルポイントとして登録することで誤警報を低減し、警報の信頼度を高めることができます。

⚠ 警告

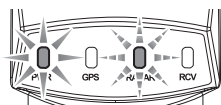
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

一時的にキャンセルする（ミュート）

① 各種警報中に



オービス / GPS 警報

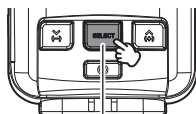


レーダー警報



無線警報

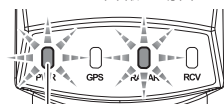
② 本体の【セレクトスイッチ】を短押する



セレクト
スイッチ

③ 「ビッ」とブザー音が鳴り、電源ランプが点滅します。

■ レーダー警報の場合



青色で点滅

解除方法

ミュート中に再度上記操作を行うことで、ミュート状態は解除されます。

👉 アドバイス

- ・ミュート中は、警報音 / アナウンスによる警報を行いません。
- ・下記の場合もミュートされます。
 - オービスポイントのキャンセル地点 (⇒ P38)
 - ASC 機能が作動中 (⇒ P70)
 - LSC 機能が作動中 (⇒ P72)
 - 誤警報キャンセルエリア走行中 (⇒ P57)

便利な機能



誤警報地点を登録する

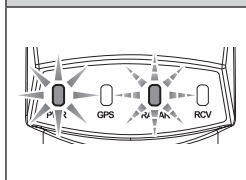
- ・自動ドアなど、レーダー波を受信してしまう場所をキャンセルポイントとして登録することで、半径約 300m 内のレーダー警報を行ないません。
- ・最大登録件数は 150 件です。

⚠ 警告

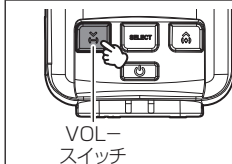
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

①レーダー警報中に

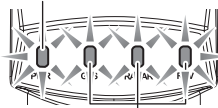


②【VOL スイッチ】を 長押しします。



③「チャーン」レーダー キャンセルポイント登録 しました」のアナウンス とLED表示がされれば 登録完了です。

青色で点灯



橙色で点灯

解除方法

レーダー本体をオールリセットすることで、登録が解除できます。ただし、その他の設定した内容も全てお買い上げ時の状態になります。(⇒ P81)

👉 アドバイス

登録ができない場合

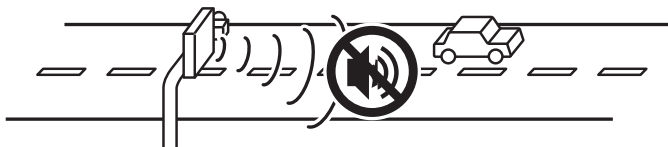
下記の場合、キャンセルポイントは登録できません。

- ・衛星未受信時
- ・キャンセルポイントが 150 件登録済み

対向車線オービスのレーダー波を自動でキャンセルする



対向車線のレーダー式オービス、H システムのレーダー波を受信した場合、自動で対向車線のオービスと認識し警報を行いません。



アドバイス

キャンセル中はすべてのレーダー波による警報を行いません。キャンセル中の走行には十分ご注意ください。



オービスポイントをキャンセル登録する

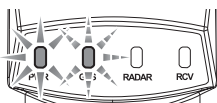
- ・お買い上げ時から GPS データに登録してあるオービスポイントや N システムポイントをキャンセルポイントとして登録することで、該当ポイントの警報を 1 地点単位で消音します。
- ・最大登録件数は 30 件です。
- ・同時にレーダー波もキャンセルされます。

⚠ 警告

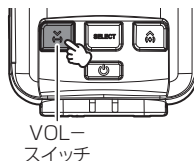
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

① オービス警報中に

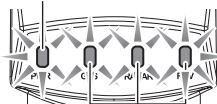


② 【VOL スイッチ】を 長押しします。



③ 「チャリーン」警報 キャンセルポイント登録 しました」のアナウンス と LED 表示がされれば 登録完了です。

青色で点灯



橙色で点灯

解除方法

登録地点を走行中（ミュート中）に再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

👉 アドバイス

登録ができない場合

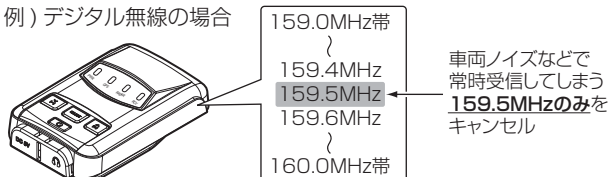
ポイント登録件数が 30 件登録済みの場合、キャンセルポイントは登録できません。

無線警報をキャンセル登録する（パスメモリ）

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。

※ カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は設定（登録）できません。

（例）デジタル無線の場合



※キャンセルした159.5MHz以外の159.0～159.4MHz、159.6～160MHzを受信するとキャンセルされずに警報を行います。

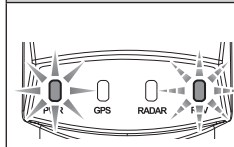
※無線警報設定（⇒P68）でOFFに設定した警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。

⚠ 警告

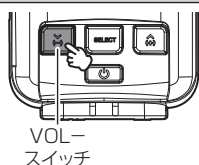
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

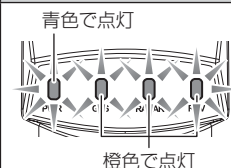
①無線警報中に



②【VOL スイッチ】を長押しします。



③「チャラーン」パスメモリを登録しました」のアナウンスとLED表示がされれば登録完了です。



解除方法

レーダー本体をオールリセットすることで、登録が解除できます。ただし、その他の設定した内容も全てお買い上げ時の状態になります。（⇒P81）

👉 アドバイス

登録ができない場合

カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は登録できません。

便利な機能

GPS データを更新する

- ・本製品の GPS データ（GPS ポイントデータ）は最新バージョンに更新ができます。
- ・弊社調査地点以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。運転するときは安全のため、必ず法定速度内で走行してください。
※ ダウンロードのサイトは、予告なく変更・中止される場合があります。

パソコンからダウンロードする（microSD カードへの書き込み）

◆必要な物

- ・パソコン（対応 OS : Windows10 / 8.1 / 7 / Vista / XP / 2000）
- ・市販の microSDHC カード（32GB 以下）
- ・microSDHC 対応カードリーダー /ライター

◆更新方法

下記 2 通りの方法でデータの書き込みができます。

方法①ワンクリック DL App を使用する

コムテックホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp>) よりダウンロードできる『ワンクリック DL App』をインストールすることで、カンタンに GPS データをダウンロードし、microSD カードに書き込むことができます。



方法② microSD カードに直接書き込む

『ワンクリック DL App』をインストールできない、または動作しない場合は、コムテックホームページよりデータをダウンロードし、microSD カードにデータを直接書き込んでください。



🖱️ アドバイス

上記のダウンロードできる環境をお持ちでないお客様は、本製品を直接コムテック サービスセンターまでお送りください。

※お預かりでのデータ更新に関しましては**有料**となります。あらかじめご了承ください。

※製品の修理対応が終了している場合は、お預かりでのデータ更新を行う事ができません。あらかじめご了承ください。

〒470-0151

住所 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字池上 1-1

電話 0561-56-1814

株式会社 コムテック サービスセンター データ更新係 迄

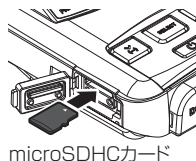
レーダー本体をアップデートする

最新の GPS データをダウンロードした microSDHC カードをレーダー本体に読み込ませることで、GPS データの更新ができます。

⚠ microSD カードを抜き差しする際は、必ずレーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

操作方法

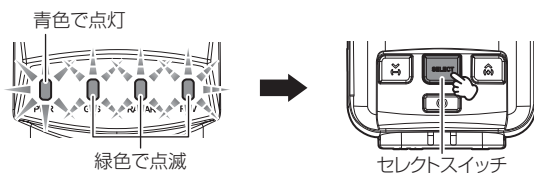
1. レーダー本体の microSD カードスロットに、向きに注意して microSD カードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。(⇒ P29)



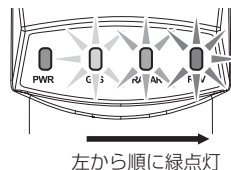
2. レーダー本体の電源を入れます。(⇒ P26)

3. 電源ランプ以外の LED が緑点滅したら、【セレクトスイッチ】を短押しします。

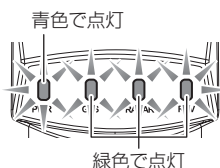
・【VOLスイッチ】を押すことで更新をキャンセルできます。



4. 電源ランプ以外の LED が左から順に緑点滅しデータ更新が開始されます。

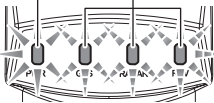
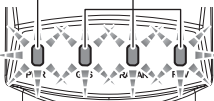
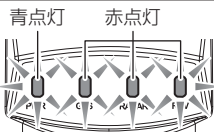
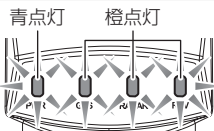
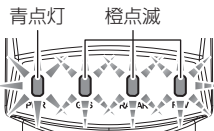


5. すべての LED が点灯に変わり、自動的に再起動したらデータ更新は完了です。
更新完了後、必ず microSD カードを抜き、ゴムキャップを被せてご使用ください。



便利な機能

エラー表示一覧

LED 表示	エラー内容	対処方法
青点灯 赤点滅 	アップデートに失敗した場合に表示されます。 正常にアップデートされるまで本製品は再起動後もデータ更新モードから切替わりません。	再起動後、GPS データのアップデートを行なってください。
青点滅 赤点滅 	電源起動時、GPS データの異常を検知した場合に表示されます。	エラー表示の後に、データ更新モードに移行するので、再度 GPS データのアップデートを行なってください。
青点灯 赤点灯 	microSD カード内に有効な GPS データが保存されていない場合に表示されます。	再度、パソコンから GPS データを microSD カードにコピーしてください。
青点灯 橙点灯 	microSD カードが挿入されていない場合に表示されます。	microSD カードの挿入を確認してください。
青点灯 橙点滅 	バッテリー残量が不足している場合に表示されます。	電源に接続するか、充電を行ってください。

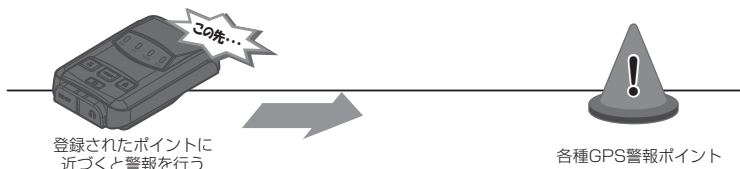
⚠ 注意

- ・ microSD カードを抜き差しする際は、必ずレーダー本体の電源を OFF にしてください。
- ・ microSD カードを無理に抜き差しすると、microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。
- ・ microSD カード以外のものを挿入しないでください。レーダー本体が破損することがあります。
- ・ アップデート中は、microSD カードを抜いたり、電源を切ったりしないでください。microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。その場合、保証期間内であっても有償修理となりますのでご注意ください。ただし、アップデートが開始されなかったり、途中で停止した場合は再起動を行い、再度アップデートを行ってください。

オービス /GPS 警報

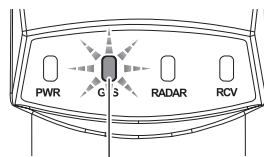
オービス /GPS 警報のしかた

- ・各種警報ポイントに近づくと、LED 表示とアナウンスでお知らせします。
- ・各 GPS 警報のアナウンス内容に関しては P47 ～ 57 をご参照ください。



オービス /GPS 警報時の LED 表示

本製品は GPS 機能を利用し、登録された警報ポイントに近づくと、GPS 警報ランプの表示とアナウンスでお知らせします。



GPS警報ランプ

警報種類		GPS 警報ランプ表示	点滅速度
オービス／ ユーザーポイント	約 2km 地点	赤点滅	遅い
	約 1km 地点		
	約 500m 地点	赤点滅	早い
	接近		
SA/PA/HO ／ハイウェイラジオ受信エリア／ 道の駅／海の駅ポイント／トンネルポイント／ 県境ポイント／スクールエリア／冠水エリア／ ラウンドアバウト		緑点滅	遅い
駐車監視エリア／信号無視取締機ポイント／ 過積載取締機ポイント／警察署エリア／交番エリア／ 高速道路交通警察隊エリア／事故ポイント／ ヒヤリハット地点／Nシステム／急カーブポイント／ 分岐／合流ポイント／逆走お知らせポイント／ 消防署エリア／ゾーン 30／踏切一時停止ポイント		橙点滅	早い
取締ポイント／小型オービス／白バイ警戒エリア／ W オービス／速度監視路線／速度警戒ポイント		赤点滅	
取締ポイント回避		緑点滅	

警報について

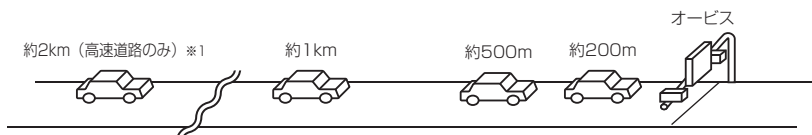
オービス / ユーザーポイント警報

オービス / ユーザーポイントに接近した場合、下記の位置で警報を行います。

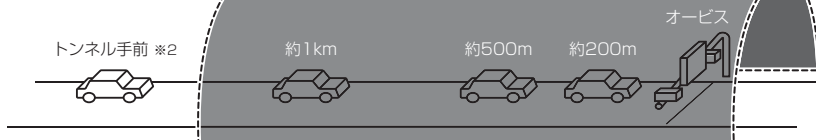
※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

■警報を行う距離

●一般道 / 高速道



●トンネル内



●トンネル出口オービス



※ 1. 警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさなどによっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、オービスの設置された道路の側道など、警報対象近くの平行する道路を走行中にも警報を行う場合があります。ユーザーポイント警報は、走行エリアの設定が『ハイウェイモード』の状態に登録した場合にアナウンスを行います。

※ 2. トンネル入口から 1km 以上先にオービスがある場合のみ警報します。

音声アナウンス内容

速度や道路種類などによりアナウンスの内容が変わります。

■オービス / ユーザーポイント警報

	距 離	道路種	カメラ位置	警報対象	速度 / 到達時間 / 制限速度
2km	2キロ先 (※ 1)	高速道	—	ループコイル ループコイル式 オービスシステム	時速は約 (※ 2) キロ、 ・ 到達時間アナウンス (※ 3) ・ 制限速度アナウンス
1km	1 キロ先	・ 高速道 ・ 一般道	—	LHシステム Hシステム レーダー	・ 走行速度アナウンス (※ 4) ・ 制限速度アナウンス
500m	この先	・ 高速道 ・ 一般道	・ 左側 ・ 正面 ・ 右側 (※ 5)	移動式小型オービス ユーザーポイント があります。	—

※ 1. 2 キロは高速道路のみアナウンスします。

※ 2. アナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位 (四捨五入) でアナウンスします。

※ 3. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。

・ 到達時間アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、『到達時間は〇〇秒以内です』とアナウンスします。

・ 制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、『制限速度は〇〇キロです』とアナウンスします。

※ 4. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。

・ 走行速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、『時速は約 (※ 2) キロです』とアナウンスします。

・ 制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、『制限速度は〇〇キロです』とアナウンスします。

※ 5. ユーザーポイント警報の際はカメラ位置のアナウンスは行いません。

警報について

■トンネル内 / トンネル出口オービス警報

※ トンネル出口オービス警報はトンネル手前での警報のみとなります。

	距離	道路種	場所	カメラ位置	警報対象	速度 / 制限速度
トンネル手前	—	・高速道 ・一般道	・トンネル内 ・トンネル出口	—	ループコイル ループコイル式 オービスシステム	・走行速度アナウンス (※ 1) ・制限速度アナウンス
1km	1 キロ 先	・高速道 ・一般道	トンネル内	—	LH システム H システム レーダー	制限速度アナウンス (※ 2)
500m	この先	・高速道 ・一般道	トンネル内	・左側 ・正面 ・右側	移動式小型オービス があります。	—

※ 1. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。

・走行速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、『時速は約 (※ 2) キロです』とアナウンスします。

走行速度はアナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位 (四捨五入) でアナウンスします。

・制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、『制限速度は〇〇キロです』とアナウンスします。

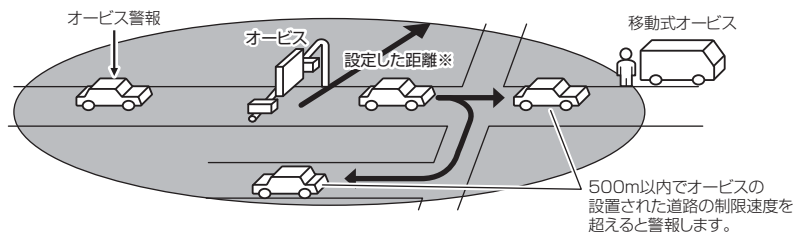
※ 2. 制限速度データがある場合のみ、『制限速度は〇〇キロです』とアナウンスします。

G システム (⇒ P26) のみでは、自車位置を完全に検出することができません。
そのため走行状況によっては、実際のオービスまでの距離と警報を行う距離が異なったり、警報を行わない場合があります。あらかじめご了承ください。



W オービス

- 一般道路上のオービスポイントを通過後、500m 以内にオービスの設置された道路の制限速度以上で走行するとお知らせします。



アナウンス

効果音 この先 ダブルオービスにご注意ください。

アドバイス

- 500m 以内に信号などにより停止 (5km/h 以下) した場合、再度オービスの設置された道路の制限速度を超えると 3 回まで警報します。
- オービス警報キャンセルポイントに設定されているオービスポイントでは、ダブルオービス警報もキャンセルされます。
- オービス通過後、500m 以内であれば車両の進行方向にかかわらず、オービスの設置された道路の制限速度を超えた時にダブルオービスの警報を行います。

速度監視路線



オービスが設置された路線であることを、オービスポイントの手前 3km 地点でお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道 速度監視路線です。

※ 走行エリア (⇒ P69) がシティーモード以外の時に有効です。

アドバイス

トンネルや分岐、合流により、設定した距離の前後で案内する場合があります。

警報について



取締ポイント

過去に検問や取締りの事例があるポイントが予め本機に登録しており、取締ポイントに接近すると約 200m ~ 1km の間で注意をお知らせし、ポイントから離れた時に回避をお知らせします。

《速度 / 検問 / 交通取締り》

[速度取締り] ネズミ捕りなどの取締り

[検問取締り] 飲酒 / シートベルト / 携帯電話などの取締り

[交通取締り] 一時停止無視や信号無視などの取締りポイント

[その他取締り] 上記以外の取締りを行なっているポイント

[重点取締り] 上記取締ポイントが 2 つ重なっている場合に警報

[最重点取締り] 上記取締ポイントが 3 つ以上重なっている場合に警報

※ 高速道路上の取締ポイントはその他取締りとして警報を行います。

取締種類	アナウンス
速度 / 検問 / 交通	効果音 この先 一般道 [速度 / 検問 / 交通] 取締りにご注意ください。
重点 / 最重点	効果音 この先 一般道 [重点 / 最重点] 取締ポイントがあります。 ご注意ください。
その他	効果音 この先 (高速道 / 一般道) 取締りにご注意ください。
回避	効果音 [速度 / 検問 / 交通 / 重点 / 最重点] (※) 取締りを回避しました。

※ その他取締り警報時は種別のアナウンスを行いません。

👉 アドバイス

取締ポイントの回避警報は他の警報と重なった場合、他の警報が優先され、回避警報を行わない場合があります。



可搬式 / 半可搬式 小型オービス設定

小型オービスの取締りポイントに接近すると、可搬式小型オービスか半可搬式小型オービスを識別してお知らせします。

状況	距離	アナウンス
一般道	400m	この先 一般道 [可搬式 / 半可搬式] 小型オービスがあります。
高速道	600m	この先 高速道 [可搬式 / 半可搬式] 小型オービスがあります。



信号無視取締機ポイント

- ・信号無視取締機が設置されている交差点で、信号を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・本機に登録されている信号無視取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス
効果音 この先 一般道信号無視取締機にご注意ください。

※ 走行エリア (⇒ P69) がハイウェイモード以外の時に有効です。



過積載取締機ポイント

- ・過積載取締機が設置されている路線で、車両の積載量を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・本機に登録されている過積載取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス
効果音 この先 (高速道 一般道) 過積載取締機にご注意ください。

警報について



警察署エリア

本機に登録されている警察署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 警察署があります。

※ 走行エリア（⇒ P69）がハイウェイモード以外の時に有効です。



白バイ警戒エリア

本機に登録されている白バイ警戒エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

状況

アナウンス

通常

効果音 この先 白バイ取締りにご注意ください。

重点

効果音 この付近 白バイ重点警戒エリアです。
取締りにご注意ください。

👉 アドバイス

- ・ 白バイ重点警戒エリアは白バイ警戒エリア警報を行なったあと、一定の無線を受信した際に警報を行います。
- ・ LSC 機能（⇒ P72）の設定が【ON】で LSC 機能が作動中の場合、白バイ警戒エリアの警報音は LSC 機能によってミュートされますが、白バイ重点警戒エリアの警報は無線による警報のため、ミュートされません。
※ LSC 機能の設定が【ALL ON】で LSC 作動中の場合は、白バイ警戒エリア、白バイ重点警戒エリアともに警報音がミュートされます。



交番エリア

本機に登録されている交番付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 交番があります。

※ 走行エリア（⇒ P69）がハイウェイモード以外の時に有効です。



高速道路交通警察隊エリア

本機に登録されている高速道路交通警察隊エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 高速道路交通警察隊エリアです。



事故ポイント

本機に登録されている事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先（高速道
一般道）事故多発地点です。



ヒヤリハット地点

本機に登録されているヒヤリハット地点に接近（約 1km）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道 ヒヤリハット地点です。
安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア（⇒ P69）がシティーモード以外の時に有効です。

アドバイス

高速道路上の事故が発生しやすい箇所や、運転に注意すべき箇所をヒヤリハット地点として登録しています。

警報について



急カーブ

本機に登録されている急カーブ付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道（※ 1）急カーブです。

※ 走行エリア（⇒ P69）がシティーモード以外の時に有効です。

※ 1. カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。

- 全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。
- 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



トンネルポイント

本機に登録されているトンネル付近に接近（約 1km）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道（※ 1）トンネルがあります。

※ 走行エリア（⇒ P69）がシティーモード以外の時に有効です。

※ 1. トンネルの状況に応じて、長い、連続する のいずれかをアナウンスします。

- 全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。
- 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



逆走お知らせ

全国的高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスで停車した時や、入口から本線に合流しようとするとお知らせします。

アナウンス

効果音 逆走注意 進行方向をご確認ください。

※ 走行エリア (⇒ P69) および LSC の設定 (⇒ P72) に関わらず、警報を行います。

《出入口が別方向の場合》

サービスエリアなどで停車後、20km/h 以上でサービスエリアなどの入口に向かって走行（逆走）すると警報を行います。逆走お知らせポイントから離れるまで警報表示を続けます。

《出入口が同じ方向の場合》

サービスエリアなどで停車した時に警報を行います。

その後発進し、20km/h 以上になった場合に、再度警報を行います。

逆走お知らせ警報中はオービス警報を行いません。ご注意ください。

N システム / NH システム



N システム / NH システムポイントに接近するとお知らせします。

※ 対向車線上の N システム / NH システムへの警報は行いません。

※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。



アナウンス

効果音 この先 (高速道 一般道) N システムがあります。

警報を行う距離は、対象とする N システム / NH システムからの直線距離です。道路の高低差やカーブの大きさなどによっては、実際の走行距離と異なる場合があります。

警報について



ハイウェイラジオ受信エリア

ハイウェイラジオ受信可能エリアに接近するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道 ハイウェイラジオ受信エリアです。

※ 走行エリア (⇒ P69) がシティーモード以外の時に有効です。



SA/PA/HO

高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスに接近 (約 2km) するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道
[サービスエリア / パーキングエリア / ハイウェイオアシス] があります。

※ 走行エリア (⇒ P69) がシティーモード以外の時に有効です。



道の駅 / 海の駅

本機に登録されている道の駅、海の駅付近に接近 (約 1 km) するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 一般道 [道の駅 / 海の駅] があります

※ 走行エリア (⇒ P69) がハイウェイモード以外の時に有効です。



県境

県境付近に接近 (約 1 km) すると、都道府県をお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 (※ 1) です。

※ 1. 都道府県をアナウンスします。

全ての県境で警報するわけではありません。また、山間部やトンネル出口付近など、衛星の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。



分岐 / 合流

本機に登録されている分岐合流付近に接近(約500m)すると、お知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道 [分岐 / 合流] があります。

※ 走行エリア (⇒ P69) がシティーモード以外の時に有効です。

- 全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA・PA・HO・インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。
- ジャンクションの形状によっては一つの分岐・合流ポイントで複数回警報することがあります。
- 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



駐車監視エリア

各警察より発表される「最重点地域」、「重点地域」を基に、駐禁監視エリアが登録されています。監視エリア付近に接近するとお知らせします。

アナウンス

効果音 駐車監視エリアです。

- ※ 走行エリア (⇒ P69) がハイウェイモード以外の時に有効です。
- ※ LSC の設定 (⇒ P72) に関わらず、警報を行います。

- 全ての駐車監視エリアで警報するわけではありません。
- 衛星の受信状況により実際の駐車監視エリアと異なる場所で警報することがあります。



消防署エリア

本機に登録されている消防署付近に接近(約300m)するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 消防署があります。

※ 走行エリア (⇒ P69) がハイウェイモード以外の時に有効です。

警報について



ゾーン 30

各警察より発表されるゾーン 30 が登録されています。ゾーン 30 付近に接近するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 ゾーン 30 です。 安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア (⇒ P69) がハイウェイモード以外の時に有効です。

※ LSC の設定 (⇒ P72) に関わらず、警報を行います。

- 全てのゾーン 30 で警報するわけではありません。
- 衛星の受信状況により実際のゾーン 30 と異なる場所で警報することがあります。

👉 アドバイス

ゾーン 30 とは

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。



スクールエリア

本機に登録されている幼稚園 / 保育園、小学校、中学校、高校付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

※月曜日から金曜日の 7:00 ~ 9:00、12:00 ~ 18:00 のみ警報を行います。

アナウンス

効果音 この付近 スクールエリアです。 安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア (⇒ P69) がハイウェイモード以外の時に有効です。

※ LSC の設定 (⇒ P72) に関わらず、警報を行います。



踏切一時停止ポイント

本機に登録されている踏切付近に接近（約 30m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 踏切があります。

※ 走行エリア（⇒ P69）がハイウェイモード以外の時に有効です。

※ LSC の設定（⇒ P72）に関わらず、警報を行います。



冠水エリア

本機に登録されている冠水エリア付近に接近（約 100m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 冠水エリアがあります。

※ 走行エリア（⇒ P69）がハイウェイモード以外の時に有効です。



ラウンドアバウト

本機に登録されているラウンドアバウトに接近（約 100m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 ラウンドアバウトがあります。 進行方向をご確認ください。

※ 走行エリア（⇒ P69）がハイウェイモード以外の時に有効です。



誤警報キャンセルエリア

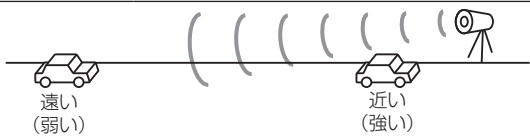
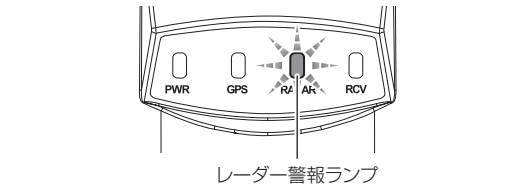
レーダー波の誤警報を行う地点をあらかじめ本機に登録しており、誤警報キャンセルエリア内でレーダー波を受信した際に、自動的にミュートを行う機能です。

警報について

レーダー警報

- ・レーダー波を受信した場合、ASC 機能設定 (⇒ P70) の受信感度と、取締機までの距離により下記表のように警報を行います。
- ・ステルス波は、至近距離で非常に強いレーダー波を照射するため、ASC 設定の内容に関わらず警報を行います。
- ・アラーム音は設定により変更することができます。(⇒ P73)

ステルス式の見取りの場合、至近距離でレーダー波を発射するため、受信できないことや警報が間に合わないことがあります。

レーダー式取締機までの距離			
レーダー警報ランプ表示			
レーダー受信レベル		LEVEL1  LEVEL4	
LED 点滅速度		遅い  早い	
LED 点滅色		橙 赤	
アラーム音	受信感度	LOW	アラーム音が鳴らない ※警報表示は行います。
		HI	
		S-HI	アラーム音が鳴る
		HYPER	

※ レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報を優先します。

無線警報

無線警報のしかた

- ・各種無線を受信すると、LED 表示とアナウンスでお知らせします。
- ・各無線警報のアナウンス内容に関しては P61 ～ 65 をご参照ください。



無線を受信すると
警報を行う

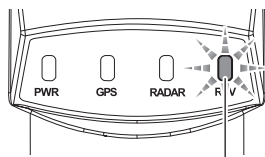


各種無線

本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

無線警報表示

無線警報ランプの表示とアナウンスでお知らせします。



無線警報ランプ

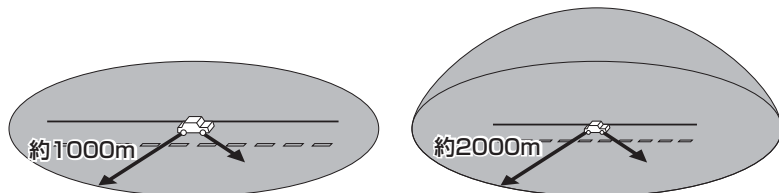
警報種類	無線警報ランプ表示	受信レベル	点滅速度
カーロケ／350.1／デジタル／ 署活系／ワイド／取締特小／ 警察活動／警察ヘリテレ	赤点滅	弱い (遠い) ※ 1	遅い
		強い (近い・接近) ※ 1	早い
パトロールエリア	赤点滅	—	早い
レッカー／高速管理車両／警備／ タクシー	緑点滅	—	遅い
新救急／消防ヘリテレ／消防	橙点滅	—	遅い
カーロケ回避	緑点滅	—	遅い

※ 1 カーロケ、デジタル、ワイド無線のみ遠近識別警報を行います。

警報について

受信範囲

下図の受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。



カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、
取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、
警察活動、警備、タクシーの各無線

警察/消防ヘリテレ無線

⚠ 注意

- ・放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤作動する場合があります。また、VHF 帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。
- ・使用状況、走行状態、製品取付位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

カーロケ無線（カー・ロケーター・システム）

緊急車両に装備された GPS 受信機より算出された位置データを、各本部の車両管理センターへ定期的に送信する無線です。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

状況	アナウンス
遠い	効果音 カーロケ無線を受信しました。
近い	効果音 カーロケ無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音 カーロケ無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。
回避	効果音 カーロケ無線を回避しました。

⚠ 注意

- ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信されるため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化するため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わないため、本製品での受信はできません。

- ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。
- ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信できる地域であっても、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

警報について

350.1MHz 無線（取締用連絡無線）

取締用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締りなどで使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



アナウンス

効果音 350.1 無線を受信しました。

デジタル無線

各警察本部と移動局（緊急車両など）とが行う無線交信で、159MHz 帯～160MHz 帯の電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

状況	アナウンス
遠い	効果音 デジタル無線を受信しました。
近い	効果音 デジタル無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音 デジタル無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

署活系無線

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

アナウンス

効果音 署活系無線を受信しました。

ワイド無線

警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

状況	アナウンス
遠い	効果音 ワイド無線を受信しました。
近い	効果音 ワイド無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音 ワイド無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

取締特小無線

シートベルト、一旦停止など取締現場では通常 350.1MHz 無線を使用しますが、取締りの連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

アナウンス
効果音 取締特小無線を受信しました。

警察活動無線

機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

アナウンス
効果音 警察活動無線を受信しました。

警報について

パトロールエリア

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

アナウンス

効果音 パトロールエリアです。ご注意ください。

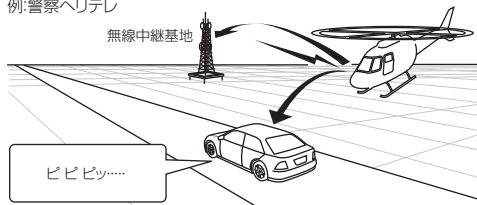
アドバイス

必ず検問、取締りなどを行なっているとは限りません。

警察／消防ヘリテレ無線

- ・警察ヘリテレは主に事件・事故などの情報収集、取締りなどの時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。
- ・消防ヘリテレは火事などの事故処理や連絡用として使われています。

例:警察ヘリテレ



※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていないため、本製品では受信できないことがあります。
※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
※送信電波の中継基地周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。(警察ヘリテレのみ)

受信種類	アナウンス
警察ヘリテレ	効果音 警察ヘリテレ無線を受信しました。
消防ヘリテレ	効果音 消防ヘリテレ無線を受信しました。

新救急無線

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

アナウンス

効果音 新救急無線を受信しました。

消防無線

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

アナウンス

効果音 消防無線を受信しました。

レッカー無線

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数のため、地域によっては一般業務無線を受信することがあります。

アナウンス

効果音 レッカー無線を受信しました。

高速管理車両無線

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用します。

アナウンス

効果音 高速管理車両無線を受信しました。

警備無線

各地の警備会社が使用する無線です。

アナウンス

効果音 警備無線を受信しました。

タクシー無線

各地のタクシー会社が使用する無線です。

アナウンス

効果音 タクシー無線を受信しました。

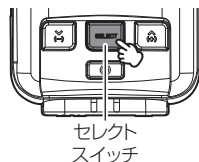
設定項目

GPS 警報設定

- GPS 警報の設定を 3 つのモードから簡単に切替える事ができます。
- お買い上げ時は【おまかせ 1】に設定されています。

設定方法

- 待機中に【セレクトスイッチ】を**長押し**し、GPS 設定モードに入ります。



- 【セレクトスイッチ】を短押しすること設定が切替わります。

- GPS 警報ランプの色で設定を表示します。

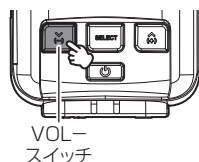
- ・オールオン：緑点灯
- ・おまかせ 1：橙点灯
- ・おまかせ 2：赤点灯

GPS 警報ランプ



- 【VOL-スイッチ】を短押しして設定を終了します。

何もスイッチを押さないで約 5 秒経過した場合、変更した設定が保存され待機状態に戻ります。



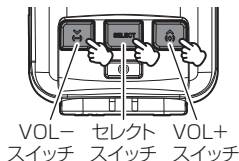
機能	おまかせ 1 (初期設定)	おまかせ 2	オールオン
W オービス	OFF	OFF	距離：500m
速度監視路線			距離：3km
取締ポイント／可搬式／半可搬式小型オービス／ 白バイ警戒エリア／速度警戒ポイント	ON	ON	ON
駐車監視エリア／道の駅・海の駅ポイント	OFF		
信号無視取締機ポイント／過積載取締機ポイント	ON		
警察署エリア／交番エリア／高速警察隊エリア／ 事故ポイント／ヒヤリハット地点／Nシステム	OFF	OFF	
SA/PA/HO／ハイウェイラジオ受信エリア／ 急カーブポイント／トンネルポイント／県境ポイント			
分岐・合流ポイント／逆走お知らせポイント／ 消防署エリア／スクールエリア／踏切一時停止ポイント			
ゾーン 30	ON	ON	
ラウンドアバウト	OFF	OFF	
冠水エリア			

レーダー警報設定

- ・レーダー警報の ON/OFF を切替えることができます。
- ・お買い上げ時は【HIGH】に設定されています。

設定方法

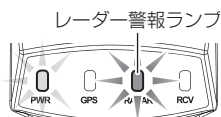
1. 待機中に【VOL -スイッチ】、【セレクトスイッチ】、【VOL +スイッチ】を同時に長押しし、レーダー設定モードに入ります。



2. 【VOL -スイッチ】、【セレクトスイッチ】、【VOL +スイッチ】を同時に短押しすることで設定が切り替わります。

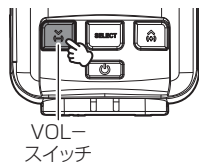
3. レーダー警報ランプの色で設定を表示します。

- ・ OFF：消灯
- ・ LOW：緑点灯
- ・ HIGH：赤点灯



4. 【VOL -スイッチ】を短押しして設定を終了します。

何もスイッチを押さないで約 5 秒経過した場合、変更した設定が保存され待機状態に戻ります。



レーダー警報設定を OFF に設定すると、レーダー警報を一切行わなくなります。ご注意ください。

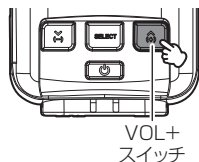
設定項目

無線警報設定

- ・無線警報の設定を 4 つのモードから簡単に切替える事ができます。
- ・お買い上げ時は【おまかせ 1】に設定されています。

設定方法

1. 待機中に【VOL + スイッチ】を**長押し**し、無線設定モードに入ります。



2. 【VOL + スイッチ】を短押しするごとに設定内容を変更することができます。

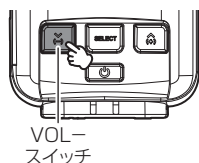
3. 無線警報ランプの色で設定を表示します。

- ・オールオン：緑点灯
- ・おまかせ 1：橙点灯
- ・おまかせ 2：赤点灯
- ・オールオフ：消灯



4. 【VOL - スイッチ】を短押しして設定を終了します。

何もスイッチを押さないで約 5 秒経過した場合、変更した設定が保存され待機状態に戻ります。



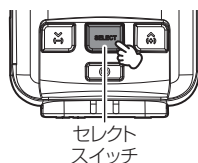
機能	オールオフ	おまかせ 1 (初期設定)	おまかせ 2	オールオン
カーロケ	OFF	ON	ON	ON
350.1MHz				
デジタル		OFF		
取締特小				
署活系				
ワイド				
警察 / 消防ヘリテレ				
レッカー				
新救急				
消防				
高速管理車両		ON	ON	
警察活動				
警備				
タクシー				
パトロールエリア	ON	ON		

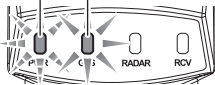
走行エリアを選ぶ

- GPS 警報を行う道路を【オールモード】【シティーモード】【ハイウェイモード】【オートモード】から選択することができます。
- お買い上げ時は【オートモード】に設定されています。

設定方法

待機中に【セレクトスイッチ】を短押しすること
に設定が切替わります。



設定	LED 表示	GPS 警報を行う道路
オールモード	青点滅 橙点灯 	一般道路／高速道路
シティーモード	青点滅 緑点灯 	一般道路のみ
ハイウェイモード	青点滅 赤点灯 	高速道路のみ
オートモード (初期設定)	青点滅 3色を順に表示 	オールモード、シティーモード、 ハイウェイモードを自動で切替える

※ シティーモード設定中、走行速度が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると、「モード確認をしてください」とアナウンスします。

オートモードに設定した場合、自車の走行速度と GPS データを基に走行エリアを自動的に切替えるため、下記のような実際の走行道路と設定が異なる場合は GPS 警報を行わないことがあります。

高速道路走行中に渋滞などにより低速走行をしている場合。

高速道路から速度を落とさずに一般道路に合流する場合。

一般道路と高速道路が並行している場合。

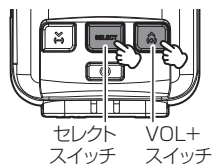
設定項目

ASC 機能設定

- ASC 機能とは、オート・センシティブ・コントロールの略称で、【AUTO】に設定すると、低速走行中（渋滞など）は受信感度を下げて警報音をミュート（消音）し、高速走行中はレーダーの受信感度を上げて警報しやすくします。
- 【AUTO】【LOW】【HI】【S-HI】【HYPER】から選択することができます。
- お買い上げ時は、【AUTO】に設定されています。

設定方法

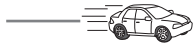
待機中に【セレクトスイッチ】と【VOL + スイッチ】を同時に短押しすることで設定が切替わります。



受信感度設定	適切な走行場所	走行状態	LED 表示
AUTO (初期設定)	—	—	青点滅 3色を順に点滅
LOW	市街地	低速走行	青点滅 緑点滅
HI	郊外地	中速走行	青点滅 橙点滅
S-HI	郊外地・高速道路	中・高速走行	青点滅 赤点滅
HYPER	高速道路	高速走行	青点滅 赤点灯

● AUTO

[AUTO] に設定することで、走行する速度によってレーダーの受信感度を自動的に調節します。

車両状態	 信号待ち、低速走行時など	 走行中
受信感度	LOW	LOW ⇄ HI ⇄ S-HI ⇄ HYPER と車速に応じて受信感度が変化

機能	内容	走行速度	受信感度
ASC 機能 (オート・センシティブ・コントロール)	自車の走行速度に合わせて設定を切替えます	30km/h 未満	LOW
		30km/h ~ 60km/h 未満	HI
		60km/h ~ 80km/h 未満	S-HI
		80km/h 以上	HYPER

※ 衛星を受信できない場合は、受信感度が [HYPER] に固定されます。

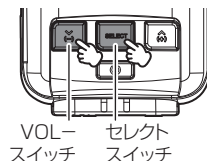
設定項目

LSC 機能設定

- LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞などで車が低速走行時は、警報音を自動的にミュートする機能です。
- 【ON】【ALL-ON】【OFF】から選択することができます。
- お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

設定方法

待機中に【VOL スイッチ】と【セレクトスイッチ】を同時に短押しすることで設定が切替わります。



状態	内容	LED 表示
ON (初期設定)	低速走行時に GPS 警報、レーダー警報の警報音をミュートします。	青点滅 緑点滅
ALL-ON	低速走行時に GPS 警報、レーダー警報、および無線警報の警報音をミュートします。	青点滅 橙点滅
OFF	走行速度に関係なく警報音を鳴らします。	青点滅 消灯

LSC 機能の動作内容

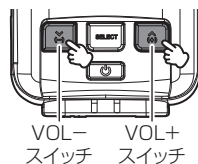
走行状態	警報
停車中～ 30km/h	しない
30km/h 以上	する
LSC 機能を OFF、または GPS 衛星を受信していない時	する

アラーム音を変更する

- レーダー警報およびオービス接近時の警報音をブザー 1 / ブザー 2 / ブザー 3 の 3 種類から選択することができます。
- お買い上げ時は、【ブザー 1】に設定されています。

設定方法

待機中に【VOL-スイッチ】と【VOL+スイッチ】を同時に短押しするごとに設定が切替わります。



設定	内容	LED 表示
ブザー 1 (初期設定)	警報音をブザーで鳴らします。	青点滅 赤点滅
ブザー 2		青点滅 橙点滅
ブザー 3		青点滅 緑点滅

※ 設定を変更することに警報音が鳴り、確認することができます。

設定項目

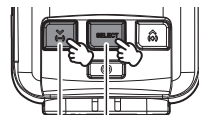
お知らせ設定

- 電源 ON 時のあいさつアナウンスや、衛星受信・未受信時のアナウンスなどを行う機能です。
- お買い上げ時は【ON】に設定されています。

状態			アナウンス内容
衛星受信			衛星を受信しました。
衛星未受信			衛星を受信できません。
起動後、2 時間経過			運転時間が 2 時間になりました。 そろそろ休憩してください。
走行エリアの切替えアナウンス (オートモード設定時)			(ハイウェイ / シティ / オール) モードに 切替えます。
あいさつ アナウンス	起動時刻	4:00 ~ 9:59	おはようございます。
		10:00 ~ 17:59	こんにちは。
		18:00 ~ 3:59	こんばんは。

設定方法

待機中に【VOL スイッチ】と【セレクトスイッチ】を同時に長押しするごとに設定が切替わります。



VOL- スイッチ セレクト
スイッチ

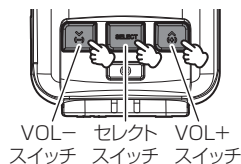
状態	内容	LED 表示
ON (初期設定)	上記各アナウンスを行います。	青点滅 緑点滅
OFF	上記各アナウンスを行いません。	青点滅 消灯

誤警報キャンセルエリア設定

- レーダー波の誤警報を行う地点をあらかじめ本機に登録しており、誤警報キャンセルエリア内でレーダー波を受信した際に、自動的にミュートを行う機能です。
- お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

設定方法

待機中に【VOL-スイッチ】、【セレクトスイッチ】、【VOL+スイッチ】を同時に短押しするごとに設定が切替わります。



状態	内容	LED 表示
ON (初期設定)	登録地点を走行時に、レーダー警報の警報音をミュートします。	青点減 緑点減
OFF	登録地点に関係なく警報音を鳴らします。	青点減 消灯

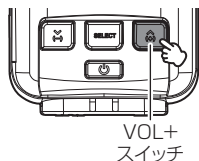
設定項目

オートパワーオフ設定

- 無操作、無振動の状態で 10 分経過した場合に自動的に本体電源を OFF にする機能です。
※ 再度電源を ON にする場合は【電源スイッチ】を**長押し**して電源を ON にしてください。(⇒ P26)
- バッテリー動作時のみ有効です。
- お買い上げ時は、【OFF】に設定されています。

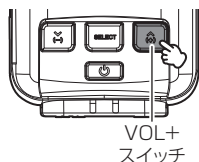
設定方法

1. レーダー本体の電源が OFF の状態で、
【VOL+ スイッチ】を**押しながら電源を ON**
にすることでオートパワーオフ設定モードに入ります。



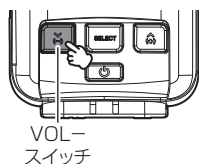
押しながら電源をONにする

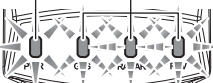
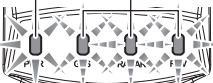
2. 【VOL+ スイッチ】を短押しするごとに設定
内容を変更することができます。



3. 【VOL- スイッチ】を短押しして設定を終了
します。

何もスイッチを押さないで約 5 秒経過した場合、
変更した設定が保存され待機状態に戻ります。



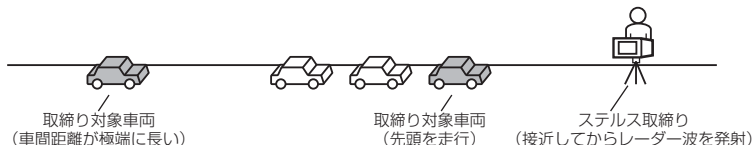
設定	内容	LED 表示
OFF (初期設定)	自動的に電源を OFF にしません。	青点灯 緑点減 
ON	無操作、無振動の状態で 10 分経過すると自動的に電源を OFF にします。	青点灯 橙点減 

取締りの種類と方法

レーダー式の取締り

●ステルス式取締方法（有人式取締り）

取締り対象の車が取締機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合などに測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。

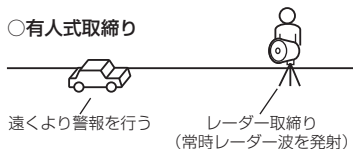


●レーダー式取締方法

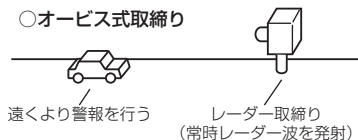
（有人式取締り／オービス式取締り／移動式小型オービス）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

○有人式取締り



○オービス式取締り



●新Hシステム式取締方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



● 移動オービス式／パトカー車載式取締方法

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

● ダブルオービス式取締方法

固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。



レーダー式以外の取締り

● ループコイル式取締方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯などに埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



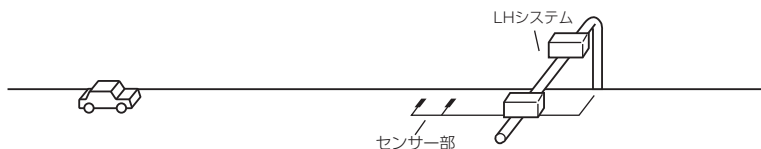
● ループコイル式オービスシステム

速度計測部はループコイル式と同様で、撮影ユニットをデジタル化し、通信機能を搭載した取締機です。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



● LH システム式取締方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影が H システム方式の取締機です。本製品では位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



● 光電管式取締方法（有人式取締り）

2 点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。



● 追尾式取締方法

パトカー・覆面パトカー・白バイなどが、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

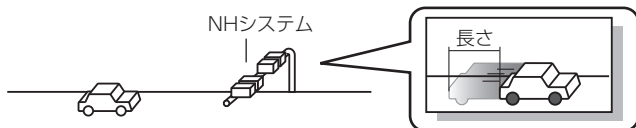


👉 アドバイス

光電管式取締方法（有人式取締り）および追尾式取締方法はレーザー波を発射しないタイプの取締方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品の取締ポイントに登録されている地点（⇒ P48）であれば GPS 警報を行います）

● NH システム式取締方法

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



付録

● 小型オービス式取締方法（オービス式取締り）

生活道路やゾーン 30 に指定された場所など、従来設置できなかったような狭い場所へも設置を可能にした取締機です。取締機が 3 種類あり、本製品では種類に応じた警報を行います。

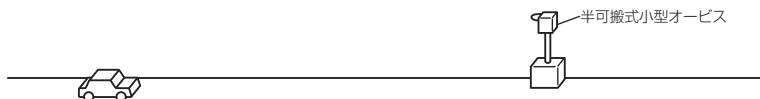
■ 固定式小型オービス

支柱を地中に埋め込むタイプの小型オービス。本製品では位置データが登録してある場合、オービス警報として警報を行います。



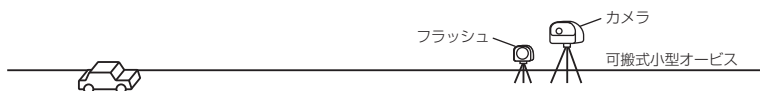
■ 半可搬式小型オービス

車両で運搬できるタイプの小型オービス。本製品では位置データが登録してある場合、半可搬式小型オービスとして警報を行います。



■ 可搬式小型オービス

一人で持ち運びできるタイプの小型オービス。本製品では位置データが登録してある場合、可搬式小型オービスとして警報を行います。



初期状態に戻す（オールリセット）

お客様自身で設定変更した内容や登録したすべてのデータをリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

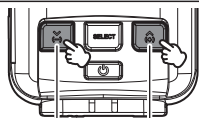
※ 更新した GPS データは初期化されません。

⚠ 注意

消去したデータの復元はできません。再設定してください。

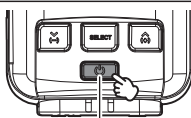
リセット方法

- ① 【VOL－スイッチ】と【VOL＋スイッチ】を押しながら



VOL－ スイッチ VOL＋ スイッチ

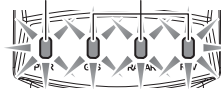
- ② 【電源スイッチ】を長押しし、電源を ON にします。



電源 スイッチ

- ③ 「オールリセットしました」のアナウンスと LED が全点灯すればリセット完了です。

青点灯 赤点灯



- ・ お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。
- ・ ディスプレイモード中はオールリセットできません。

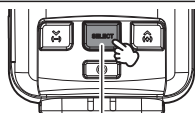
ディスプレイモード（販売店向け機能）

レーダー本体の一連の動きをデモンストレーションします。
本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。

ディスプレイモードは電源接続モード時のみ設定および動作します。バッテリー動作モードでは設定および動作はできません。

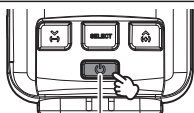
設定方法

- ① 【セレクトスイッチ】を
押しながら



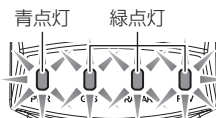
セレクト
スイッチ

- ② 【電源スイッチ】を
長押しし、電源を ON
にします。



電源
スイッチ

- ③ 「ディスプレイモード
設定しました」のアナ
ウンスとLEDが全点灯
すれば、ディスプレイ
モードが始まります。



- 再度【セレクトスイッチ】を押しながら電源を ON にすると、ディスプレイモードは終了します。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●内蔵バッテリーは十分に充電はされていますか？	18～19ページ
充電ができない	●バッテリー保護のため、低温時 / 高温時は充電を行いません。 ※充電温度範囲：0℃～+45℃ ●車両シガーソケットを分岐していませんか？	7 ページ 8 ページ
電源を入れるとすぐにエラー表示される	●データ更新をした後ではないですか？データ更新が正常に終了していないと、電源が入らないことがあります。再度データ更新を行ってください。	40～42 ページ
衛星を受信しない	●フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ●レーダー本体は正しく取付けられていますか？ ●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？	8 ページ 23 ページ 23 ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？ ●LSC 機能が作動していませんか？	30 ページ 72 ページ
・ GPS 警報をしない場合	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ ●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？ ●オービス・N システム以外のカメラではありませんか？ ●各 GPS 警報の設定は OFF になっていませんか？ ●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？ ●誤って警報キャンセルを設定していませんか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？	23 ページ 44 ページ 44,53 ページ 66 ページ 40 ページ 38 ページ 69 ページ
・ レーダー警報をしない場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？ ●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？ ●レーダー受信感度は適正ですか？ ●特定の場所でミュートされる場合は、誤警報キャンセルポイントとして登録されている場所の場合があります。	78,79 ページ 36 ページ 70 ページ 57 ページ
・ 無線警報しない場合	●各無線の設定は ON になっていますか？	68 ページ
無線を誤受信する	●電源ケーブルの取り回しや接続先の変更を行ってください。	—
ユーザーポイント、レーダーキャンセルポイント、警報キャンセルポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ ●各機能の登録可能件数の上限を超えて登録しようとしていませんか？	23 ページ 34,36,38 ページ

付録

製品仕様

レーダー本体

電源電圧	DC5V 専用	受信周波数
最大消費電流	0.4A 以下	・ GPS 受信部 (1575.42MHz、 1598.0625 ~ 1605.375MHz 帯)
受信方式	パラレル 33ch ダブルスーパーヘテロダイナ	・ X バンド (10.525GHz)
測位更新時間	最短 0.5 秒	・ K バンド (24.100GHz)
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式	・ 取締用連絡無線 (350.1MHz)
動作温度範囲	-10℃ ~ 60℃	・ カー・ロケーター・システム (407MHz 帯)
本体サイズ	100 (W) × 66.5 (H) × 35.4 (D) ／ mm 突起部除く	・ デジタル無線 (159 ~ 160MHz 帯)
重量	126g	・ 署活系無線 (347MHz 帯、361MHz 帯)
対応 SD カード	microSDHC カード 4GB ~ 32GB	・ ワイド無線 (336 ~ 338MHz 帯)
		・ 警察ヘリテレ無線 (340 ~ 372MHz 帯)
		・ 消防ヘリテレ無線 (382 ~ 383MHz 帯)
		・ 取締特小無線 (422MHz 帯)
		・ レッカー無線 (154MHz 帯、 465 ~ 468MHz 帯)
		・ 新救急無線 (371MHz 帯)
		・ 消防無線 (150MHz 帯、466MHz 帯)
		・ 高速管理車両無線 (383MHz 帯)
		・ 警察活動無線 (162MHz 帯)
		・ 警備無線 (468MHz 帯)
		・ タクシー無線 (458 ~ 459MHz 帯、 467MHz 帯)

Bluetooth 送信部

プロファイル	HFP
バージョン	3.0+EDR
送信出力	Class2
認証コード	0000
機器名称	MOTO GPS RADAR 4E

※ 本製品はおもに取り締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

商標について

Bluetooth® は米国 Bluetooth SIG, inc. の登録商標です。

1/A	
ASC 機能	70
GAGAN	10
Galileo	10
GLONASS	10
GPS	10
GPS データ	40 ~ 42
G システム	26
microSD カード	29
QZSS	10

あ	
移動式小型オービス	77
オートディマー機能	31
オートボリュームダウン機能	30
オービス警報	44
オールリセット	81

か	
可搬式小型オービス	49
冠水エリア	57
警報キャンセルポイント	38
交通安全運動期間	31
小型オービス式取締方法	80
誤警報キャンセルエリア	57

さ	
充電	19
準天頂衛星「みちびき」	10
ステルス式取締	77
ステルス波	58
走行エリア	69
ゾーン 30	56
速度監視路線	47

た	
ダブルオービス式取締	78
ディスプレイモード	82
テスト機能	30
取締ポイント設定	48

は	
バスメモリ	39
半可搬式小型オービス	49
ひまわり	10
ヒヤリハット地点	51
ペアリング	32

や	
ユーザーポイント	34

ら	
ラウンドアバウト	57
ループコイル式オービスシステム	78
レーダー警報	58